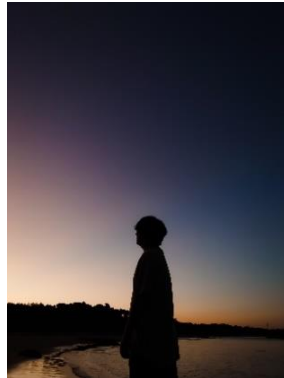


第2回大多喜町動画コンテスト

受賞者インタビュー

優秀賞 「母が大切にしていた一枚の写真。」 明石 滉斗 (Hiro & Kaji) = 東京



<https://youtu.be/ufmrkPJJbI4>

大多喜町の魅力が伝わるよう、気持ちを込めて制作しました。

ふだんは、映像制作会社に所属し、企業、採用支援、商品 PR などの映像を作っています。職場の先輩から「自主制作」をやってみたらと勧められたのを機に調べていたところ、このコンテストにたどり着きました。自由なテーマで僕らが創りたい映像としては、今回は第1作品めになります。

応募しようと思ってからは、インターネットで大多喜町のことを調べました。第1回コンテストの作品を観ると、スポットをまわって美しい映像をまとめられたものが多いと感じました。僕らの場合は、ストーリー（物語）を通じて、より多くの人に大多喜町の魅力を伝え、共感してもらえたらと考えて企画し、撮影に臨みました。

大多喜町に来るのは初めてだと思っていましたが、実際来てみると、栗又の滝に小さな頃遊びに来ていた記憶がよみがえり、此処だったのかと自分でもびっくりしました。

大多喜町の魅力は、自然豊かで歴史がある、そして人がやさしいこと。（抱いていたイメージもあれば、実際にふれあってもそう感じた）人がやさしいということは、本当はもっと作品に込めてみたかったです。

制作は、私 Hiro が企画し、ストーリーを考えました。Kaji には企画を見てもらい、一緒に企画を完成しカメラを担当してもらいました。どう撮るかは現地で決めながらキャスト（演者）さんに動いてもらいながら進めていきました。キャストは、東京で働くキャリアウーマンでありながら、自然の中でマッチするという主人公のイメージから探し、たどり着いた仲城 綾さんを起用しました。

賞については、最優秀賞を狙っていたので、嬉しい気持ちもありますが悔しいです。次はぜひ最優秀賞をとりにいきたいです。自分自身には「今回手ごたえはあった。この経験を活かして、もっと映像として魅力が伝えられるよう、次に進んで行け」と言いたいです。

将来は、自分の創った映像をできるだけたくさんの人に、そして色々な人に見てもらえるようになりたいです。今はまだ、いちクリエイターですが、プロデューサー、監督になって、有名な作品を創りだしたいです。ストーリーがあり、引き込まれるようなもの、たくさんの方の心に残るものを生み出していきたいです。

取材 商工観光課 交流促進係 電話 0470-82-2176

コンテスト概要



受賞作および応募作（公開可能なもの）は町ホームページや町 YouTube から
ご覧いただけます。

<https://www.town.otaki.chiba.jp/index.cfm/9,24256,55,html>

<https://youtube.com/playlist?list=PLT7kVt4Wry70Ij4st4RjRmzwPxKdCKgQF>